

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年04月28日

計画の名称	佐倉市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	佐倉市												
計画の目標	安全性が確認された大規模盛土造成地数の増加												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	136	A	136	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3	R5末	R7末
1	大規模盛土造成地の安全性を把握する調査（現地踏査・優先度評価）を公表した箇所数			
	第二次スクリーニング計画（現地踏査、優先度評価）を公表した箇所数	0箇所	136箇所	136箇所
	現地踏査、優先度評価の計画を公表した箇所数			
2	大規模盛土造成地の安全性を把握する調査（地盤調査等）を公表した箇所数			
	第二次スクリーニング（地盤調査等）を公表した箇所数	0箇所	3箇所	11箇所
	優先度の高い盛土造成地において地盤調査等を公表した箇所数			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R03	R04	R05	R06	R07						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	佐倉市	直接	佐倉市	—	—	大規模盛土造成地の変動 予測調査（佐倉市）	第二次スクリーニング計画の 策定、第二次スクリーニング	佐倉市	■	■	■	■	■	136		未策定			
												小計						136				
											合計						136					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 佐倉市 都市部 市街地整備課	事後評価の実施時期 令和8年4月  公表の方法 佐倉市ホームページに掲載し、公表する。
-----------------------------	---

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング計画について、計画期間内に市内の大規模盛土造成地136箇所を対象として現地踏査及び優先度評価を実施し、公表まで完了した。これにより、大規模盛土造成地の安全性把握に向けた優先順位が整理され、今後の調査・対策検討を進めるための基礎資料を整備することができた。さらに、優先度の高い11箇所について第二次スクリーニング（地盤調査等）を実施・公表したことで、安全性確認を段階的に進めるとともに、必要に応じた経過観察や滑動崩落防止対策の検討に資する知見を得ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	大規模盛土造成地の位置及び調査結果を公表することにより、宅地の安全性に関する情報提供が進み、対象区域における防災意識の向上に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

今後は、第二次スクリーニングの結果を踏まえ、必要に応じて経過観察、追加調査及び滑動崩落防止対策工事の検討を進める。また、市ホームページ等による継続的な情報提供を行い、宅地防災に関する理解促進に努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	136箇所
	最終実績値	136箇所
2	最終目標値	11箇所
	最終実績値	11箇所